

Title	【付録】慶應義塾大学アート・センターブックレット 既刊・論考一覧
Sub Title	
Author	
Publisher	
Publication year	2004
Jtitle	Booklet Vol.12, (2004. )
JaLC DOI	
Abstract	
Notes	
Genre	
URL	<a href="https://koara.lib.keio.ac.jp/xoonips/modules/xoonips/detail.php?koara_id=AA11893297-00000012-04211320">https://koara.lib.keio.ac.jp/xoonips/modules/xoonips/detail.php?koara_id=AA11893297-00000012-04211320</a>

慶應義塾大学学術情報リポジトリ(KOARA)に掲載されているコンテンツの著作権は、それぞれの著作者、学会または出版社/発行者に帰属し、その権利は著作権法によって保護されています。引用にあたっては、著作権法を遵守してご利用ください。

The copyrights of content available on the KeiO Associated Repository of Academic resources (KOARA) belong to the respective authors, academic societies, or publishers/issuers, and these rights are protected by the Japanese Copyright Act. When quoting the content, please follow the Japanese copyright act.

## 【付録】慶應義塾大学アート・センター ブックレット 既刊・論考一覧

### BOOKLET 01

#### コラボレーション——芸術の可能性

1. コラボレーションの脱資本主義的可能性について——ロシア・アヴァンギャルドを中心に（熊倉敬聡）
2. 21世紀のコラボレーションに向けて——ダムタイプ（古橋悌二／小山田徹／熊倉敬聡）
3. 詩をめぐるコラボレーション（対談：吉増剛造＋朝吹亮二）
4. 西洋戯曲と日本の伝統演劇俳優のコラボレーション——ベケット上演における能・狂言役者の示唆するもの（楠原偕子）

【80頁 1995.12.20発行】

### BOOKLET 02

#### サウンドスケープ——アート情報の世界をひらく

アートの情報管理 序説——Art Documentation and Registration (ADR) 研究会の活動とその背景（高山正也）

1. 図書館の音環境とサウンドスケープ——図書館のサウンドスケープ・デザインをめざして（加藤修子）
2. 都市デザインにおける音環境の創造——報告と討論（空谷保夫）
3. ホテル・ロビーにおけるサウンドスケープ——報告と討論（佐藤雅樹）
4. マリー・シェーファーとサウンドスケープ／音風景の地平——音／音楽・人間・自然・日常生活の関係をめぐって（山岸美穂）
5. サウンドスケープ文献案内／研究会活動記録

【100頁 1997.1.20発行】

### BOOKLET 03

#### アート・マネジメント

1. アート・マネジメントにおける文化ボランティアの意味（美山良夫）
2. 演劇の組織と雇用をめぐる日英比較研究（中山夏織）
3. アート・マネジメント教育の展開——慶應義塾における教育と研修の現場から（小川光彦／美山良夫）
4. 文化ホール・スタッフをめぐる諸課題について（笹井宏益）

【54頁 1998.1.20発行】

### BOOKLET 04

#### 脱芸術／脱資本主義——半プロダクション礼賛

序（熊倉敬聡）

研究会・ワークショップの記録

1. 道具のなかの道具・武器のなかの武器——MONEY & MAN（足立典子）
2. 高度大衆消費社会と音楽批評——古典的美学と脱芸術のはざままで（池田幸弘）
3. アートと社会——ケース・スタディ：スタジオ食堂（沼田美樹）  
スタジオ食堂と〈脱芸術／脱資本主義〉——沼田論文へのコメントとして（伊藤裕夫）  
沼田美樹論文によせて（池田幸弘）
4. 脱資本主義的生活と「民衆の平和」（西村淳）
5. 脱資本主義的生活とは（石橋源士）
6. 来るべき〈幸福学〉へのノート——頑張らなくてもいい社会に向けて（熊倉敬聡）

編集後記（池田幸弘）

【100頁 1999.3.31発行】

### BOOKLET 05

#### ヨーゼフ・ボイス——ハイパーテキストとしての芸術

はじめに（前田富士男）

1. 今日、ボイスとともになしうること——疑問・矛盾・葛藤（ギンター・ミーナス／苅谷洋介訳）
2. シラー美学とボイスの思想——美的国家の構築をめぐる（平山敬二）
3. ヨーゼフ・ボイス研究〈パラッツォ・レガーレ〉（山本和弘）
4. ボイスとジョイス（ラルフ・シュネル／前田富士男訳）
5. 「死」の教室から「生」の教室へ——ボイスとシュタイナーの余白に（熊倉敬聡）
6. さらば、乾いた糞（渾沌坊太定）
7. 再神話化そして間隔——ヨーゼフ・ボイス〈君の傷を見せよ〉（前田富士男）
8. ボイス研究文献・年譜（三本松倫代・編）

【152頁 1999.12.31発行】

#### BOOKLET 06

##### ジェネティック・アーカイヴ・エンジン——デジタルの森で踊る土方巽

ジェネティック・アーカイヴ構築のための歴史的概観（鷲見洋一）

##### I. ジェネティック・アーカイヴ・エンジンの方法論

1. 土方巽アーカイヴ「ジェネティック・アーカイヴ・エンジンにおけるドキュメンテーションについて」（柳井康弘）
  2. 土方巽デジタル・アーカイヴのデザイン理論（内田まほろ）
  3. 空値とその始末——半構造の設計論（遠山元道）
- ##### II. 土方巽の舞踏創造の方法をめぐって——舞踏の本質と作舞におけるシュルレアリスムの思想と方法（森下隆）
- ##### III. アーカイヴと生成論（Genetics）——「新しさ」と「似ていること」の解釈にむけて（前田富士男）

【96頁 2000.3.31 発行】

#### BOOKLET 07

##### アート・アーカイヴズ／ドキュメンテーション——アート資料の宇宙

1. アート・ドキュメンテーションの基礎——アート資料の世界とその組織化のあり方（高山正也）
2. 情報メディアを捉える枠組——図書館メディア、博物館メディア、文書館メディア等、多様な情報メディアの統合的構造化記述のための（田窪直規）
3. 時間-空間情報をベースとした分野横断的アーカイブズ論への考察（八重樫純樹）
4. オブジェクト・ドキュメンテーションにおけるデータ・リレーションシップおよびコンテキストにおけるカテゴリーについて（鯨井秀伸）
5. 創造的デジタルメディアの基礎と応用に関する研究

平成10年度科学研究費補助金（COE 形成基礎研究費）報告書

平成11年度科学研究費補助金（COE 形成基礎研究費）報告書

平成12年度科学研究費補助金（COE 形成基礎研究費）報告書

資料編

【92頁 2001.3.31 発行】

#### BOOKLET 08

##### 黒沢清・誘惑するシネマ

Avant-titre（藤崎康＝橋本順一）

1. 黒沢清、平面論——『勝手にしやがれ!!』から『回路』まで（常石史子）
2. 終末への遁走あるいは皆殺しの天使——黒沢清論（橋本順一）
3. 映画は千の目を持つ——黒沢清論（藤崎康）
4. 偶然と必然の戯れ——黒沢清シンポジウム採録
5. 黒沢清フィルモグラフィ（文：常石史子）

【96頁 2001.3.31 発行】

#### BOOKLET 09

##### ソフィ・カル——歩行と芸術

はじめに（鷲見洋一）

1. 東京のソフィ・カル  
ソフィのリアル・ストーリー（朝木由香・村井文美・田中淳一訳）  
ソフィ・カル講演記録の読み方——あるいは、ソフィ・カル作品における写真（近藤幸夫）
2. 3つの読み、3つの尾行  
ソフィ・カルあるいは他者への依存（村山康男）  
ソフィ・カル《ダブル・ゲームの世界》——パートナー探しのプロジェクト（小湯昭夫）  
ソフィ・カルの〈テキスト〉を読む（田中淳一）
3. 主要文献（中島恵）

【152頁 2002.3.31 発行】

#### BOOKLET 10

##### 身体をキャプチャーする——表現主義舞踊の系譜

はじめに（前田富士男）

1. ラバンの理論（ヴァレリー＝プレストン・ダンロップ／前田明子訳）
2. マリー・ヴィグマンの舞踊芸術（ヘートヴィヒ・ミュラー／小高慶子訳）
3. クルト・ヨースについて（パトリツィア・シュテッケマン／相澤啓一訳）
4. われわれの時代のダンスと表現主義舞踊についての覚え書き（松澤慶信）
5. 線描（Zeichnung）と書記（Schrift）、あるいは造形と舞踊——ドイツ表現主義の再定義（前田富士男）
6. ラバン、ヴィグマン、ヨースに関する参考文献

【96頁 2003.3.31 発行】

【慶應義塾大学アート・センター開設10周年記念号 2冊同時刊行】

BOOKLET11 芸術のプロジェクト

BOOKLET12 芸術のロケーション

**BOOKLET11 芸術のプロジェクト【目次】**

- ◎はじめに——アート・センター開設10周年記念を迎えて（前田富士男）
  - ◎身体的「知力」の復権に向けて——ヴィゴツキーの「発達の最近接領域」再考（熊倉敬聡）
  - ◎歩行者の流れに関する可視化モデルの研究（三宅理一／鈴木拓夫）
  - ◎今、美術館を創ること（南條史生）
  - ◎科学館というアートミュージアム——サイエンスミュージアム変革の試み（内田まほろ）
  - ◎アート・アーカイヴズ論の研究——情報メディア記述の統合についての考察（高山正也）
  - ◎コンピュータ音楽の挑戦——2つのCOEプロジェクトを中心に（岩竹徹）
  - ◎アートとマーケティング——Marketing as Communication（川又啓子）
  - ◎わが国の舞台芸術と文化政策——文化芸術振興基本法を契機に（米屋尚子）
  - ◎ビジネス・マネジメントとアートの邂逅（和田充夫）
  - ◎大学院アート・マネジメント教育の目的と課題——カリキュラム・モデル構築をめざして（美山良夫）
  - ◎付録
- 【120頁 2004.1.31発行 700円（税込）】